



# 官民共創の暮らしづくりで 地域の未来に彩りを繋げる

暮らしづくり会社いろという 代表取締役 片山 翔平

みなさん、こんにちは！暮らしづくり会社 いろというの片山と申します。

さて、今回はテーマが官民共創ということで、弊社が、現在取り組んでいる事業等についてご紹介させていただきます。そして、そのプロセスから、地域に関わる官と民と地域の人にとって大切だと感じたことについて記したいと思います。

弊社は、「彩(いろ)とりどりの暮らし」をビジョンに掲げて仲間と立ち上げた会社で、桐生・みどりエリアの“暮らしの多様性と可能性”を未来へ繋ぐ事業に取り組んでいます。



暮らしを彩る生き方を選ぶことができる地域は存続する  
＝暮らしの“彩り”を増やす事業をつくり、地域を未来に繋ぐ

いろというのビジョン

デジタル場所をつくっています。また、今後は地域のポテンシャルを生かしたツーリズム事業等にも取り組みます。

大変ありがたいことに、現在は、楽しい仲間やお客様に囲まれ、とても充実した毎日を過ごしていますが、ここに至るまでの間、様々な試行錯誤と課題解決の連続でした。空き家の暫定利活用と段階的開発の実践手法の検討、シェア型飲食事業の許認可申請、場づくりのための毎日開店のオペレーション、共感する仲間のコミュニティづくり、関係者との協議、関係する行政規則・制度に対する調整・提案、とにかく足掻き続け、毎回、答えのない問いに対して、知恵を出し合い向き合ってきました。

今私たちに求められているのは、官側も民側も地域の応援者も、それぞれの立場から、ビジョン・志・未来を共有し、行動していくことです。官は、民の属人性と固有性を信頼し、地域再生事業を応援する。民は、官が描くビジョンを理解した上で、事業を通じて公共の一翼を担う。そして、地域で暮らす人々は、各々の動きを全力で応援する。過去の常識が通じない未曾有の縮退時代の今だからこそ、私たちは、相互にボーダー(境界)を超え合って、深くコミュニケーションを取り、ここにしか無い答えを創り上げていく必要があります。これが、官民共創の本質だと思います。

今回は、暮らしづくり会社として感じてきた要点の一部を記しましたが、もし、ご興味を持って頂けましたら、Haji-Maruにもお越しください。同志の皆様と、どこかで一緒できる機会を楽しみにしております。

この度は、貴重な機会を頂き、ありがとうございました。

具体的には、みどり(大間々)エリアにおいて、築100年の30年空き家だった建物を借り上げ、プロの手も借りながら仲間とリノベーションして、暮らしを彩る複合施設「Haji-Maru」をつくりました。現在、施設内の曜日貸し型のシェアレストラン・カフェ・バーには6事業者が入居し、民間設置型の図書館(通称、“みんなとしょ”)には18オーナーが自分の本棚を構えております。また、シェアハウス・ゲストハウス予定スペースでは入居予定者と若手建築士チームとのコラボでオープンに向けた準備を進めています。働き方(創業・複業)や、日常の時間の過ごし方(飲食・読書・余暇)、住まい方(居住)の多様性や可能性を彩る事業に取り組むことで、楽しい暮らしがハ



第1弾PJ Haji-Maru／暮らしを彩る複合施設



曜日貸しシェアレストラン・カフェ・バー“Haji-Maru Cafe”



みんなの図書館“Haji-Maru文庫”

## 【プロフィール】 craft-life 代表・株式会社いろという 代表取締役

NPOやベンチャーでのプロジェクト運営に携わり、2009年群馬県庁入庁。在職時は業務内外で遊休不動産を活用したエリアリノベーションや群馬県官民連携PJチームを立ち上げ、中核を担う。

2023年3月末で県庁から独立、同年4月に「craft-life」を創業。自治体のメンタリング事業を始める。

さらに、同年10月に仲間と共に「株式会社いろという」を設立し、桐生・みどりエリアの暮らしの再生事業を始める。

また、その他にも桐生西宮神社の経営など、パラレルな生き方・暮らし方を通じて、未来に向けた地域づくりを進めている。

■メールアドレス iro.to.iro.company@gmail.com ■電話番号 080-8167-0367 ■連絡情報まとめQR ⇒

